

一般財団法人鹿島平和研究所
第637回 外交研究会

インド対外政策の動揺と日印関係
2025年カシミール危機、米印緊張、中印接近をめぐって

竹中千春
(立教大学)

2025年12月11日(木)15:00-17:00
@ホテルニューオータニ

ポイント

1. 日印関係の歩み
2. トランプ2.0と米印蜜月の終幕
3. インド人移民問題
4. カシミール危機
5. 関税と石油
6. アメリカ抜きのQUADか
7. 新しい権力政治－米印緊張、中印接近、日印協力

1. 日印関係の歩み

日印関係の歴史

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/pr/wakaru/topics/vol6/>

日印関係の変遷	
1947年	インド独立
1949年	インドから象の奇贈
1952年	日印国交樹立
1958年	対インド円借款開始 (我が國円借款第1号)
1962年	中印国境紛争
1965年	第2次印パ戦争
1971年	第3次印パ戦争
1974年	インド核実験
1982年	マルチ・スズキ社の設立
1991年	インド経済危機への緊急借款供与
1998年	インド核実験
1999年	印パ関係緊張
2003年	インドが円借款の最大の受取国に
2007年	EPA (経済連携協定) 交渉開始

日印関係の発展：特別戦略的グローバル・パートナーシップ

2014年8-9月日印首脳会談



G7広島サミットとインド



日米豪印クアッド首脳会合 インド太平洋
での威圧に懸念表明

2023/5/21

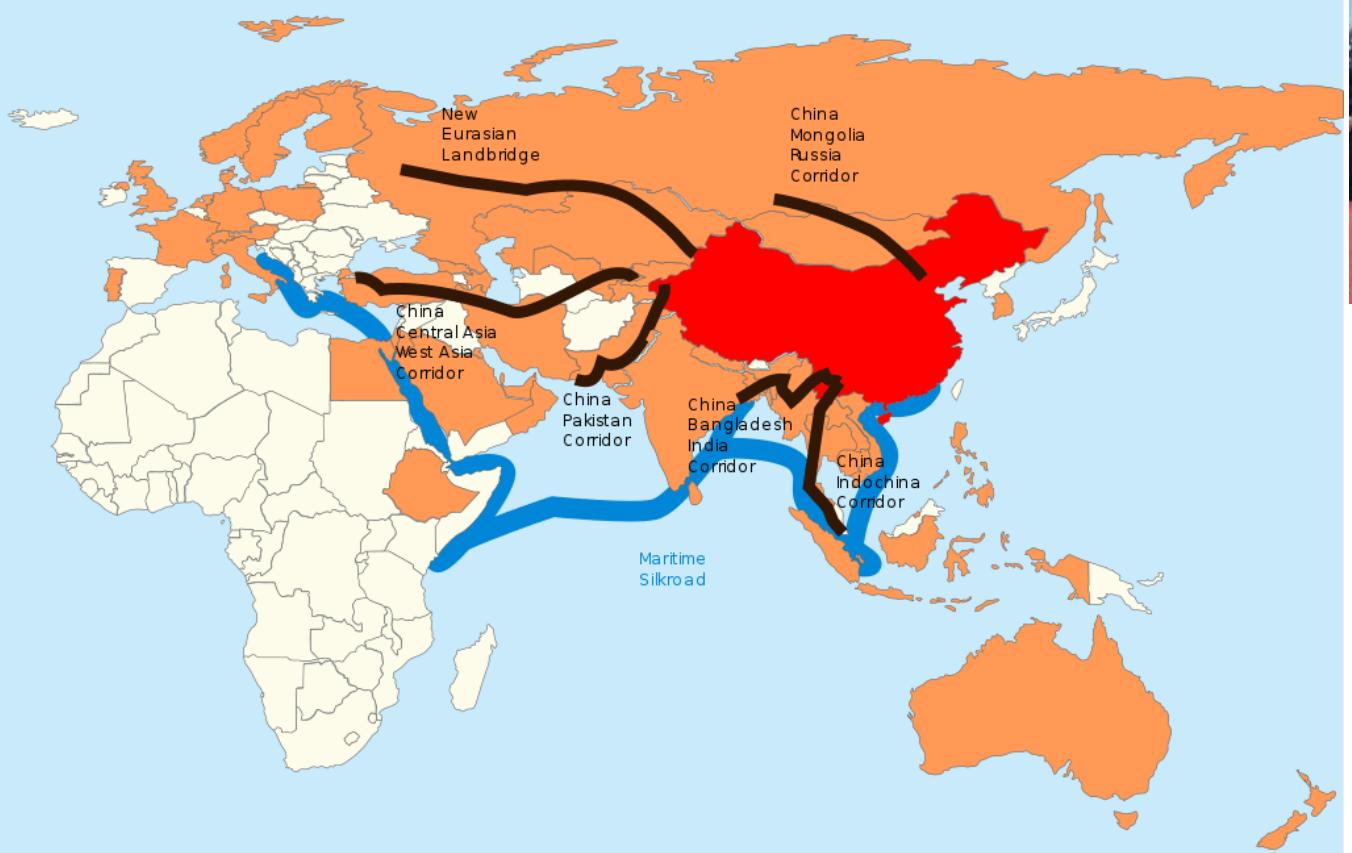
<https://www3.nhk.or.jp>



CNN, 2023/5/21, <https://www.cnn.co.jp>

握手をするウクライナのゼレンスキーダン統領(右)と
インドのモディ首相=20日、広島市/Ukrainian
Presidential Press Service/Handout/Reuters

中国一強の時代 BRICSの終わり?



<https://thegeopolitics.com/>



2019年4月27日中国主催の広域経済圏構想「一带一路」首脳会議。2017年に続き2回目。習近平氏は「国際ルールや標準を幅広く受け入れる」と。参加企業が640億ドル(約7兆円)規模の協力事業に合意。37カ国が首脳級を派遣し、100カ国以上が代表を送った。日本は自民党二階幹事長が参加。
<https://r.nikkei.com/>

トランسفォーメー ションと均衡

バイデン政権

- *Quad*(米日豪印)連携強化
- 多国間協力体制
- *Quad Plus*



Source: ABC, 12 March 2020
<https://www.bilaterals.org/?us-urges-australia-to-expand&lang=en>

2. トランプ2. 0と米印蜜月の終幕

バイデン米政権時代の米印関係

2023年：大国化するインド外交の表舞台

G20首脳宣言

ウクライナでの武力行使反対—AU正式メンバーに



G20議長国インドのモディ首相(中央左)と抱き合うアフリカ連合(AU)議長国コモロのアザリ大統領、イニューデリー、2023/9/9 <https://www.jiji.com>

クアッド(QUAD)

インド太平洋での協力を約束(海洋安全保障、経済協力、気候変動、宇宙、サイバーなど包括的な枠組み)



2022/5/24 <https://www.ndtv.com/>

2025年2月：米印首脳会談、貿易と関税巡る協議開始で合意

Trevor Hunnicutt, David Brunnstrom, Nandita Bose, 2025年2月14日

- ・[ワシントン 13日 ロイター] - 米国とインドは13日、早期の貿易協定締結と関税を巡る対立解消に向けた協議を開始することで合意した。インドは米国産石油・ガスと軍装備品の購入拡大や不法移民対策を約束した。
- ・米国はインドが最近になって一部の米国製品に対する関税を引き下げ、米国産農産物の市場アクセスを拡大したことを歓迎したほか、今年秋までに貿易協定の初期段階交渉を目指す。
- ・トランプ氏は会談後の共同記者会見で、インドは戦闘機を含む米防衛装備品の購入を「数十億ドル」増やしたいと考えていると述べた。「最終的にインドにF35ステルス戦闘機を提供する道も開いている」と語った。米国が石油とガスの「供給国トップ」になる可能性があるとも述べた。

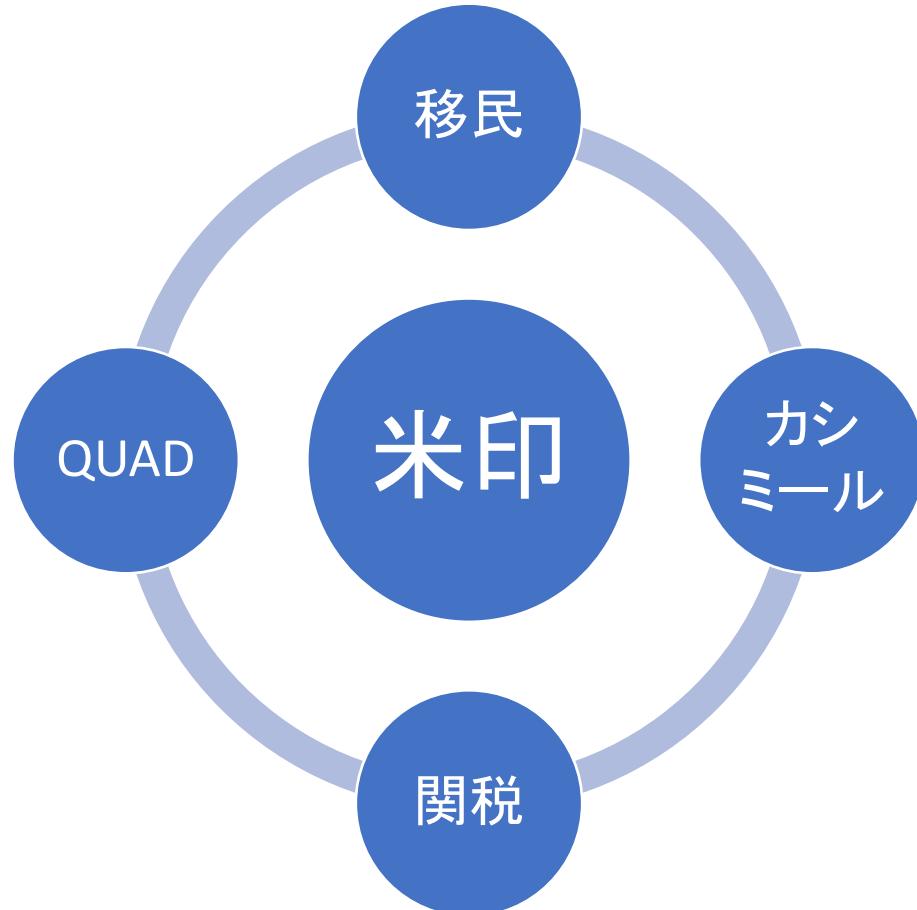
(続き)

- 両首脳はまた、中国を念頭にインド太平洋での安全保障協力を深化させることで合意した。
- モディ氏はギャバード米国家情報長官とも会談し、テロ対策やサイバーセキュリティ一分野での協力強化について協議した。
- 実業家のイーロン・マスク氏とも、宇宙開発やテクノロジーなどを巡り協議した。
- モディ氏は両国が2030年までに2国間貿易を5000億ドルに倍増させる目標を掲げており、互恵的な貿易協定を早期に締結できるよう取り組むと述べた。
- 両国が人工知能(AI)・半導体分野で協力し、戦略的鉱物の強力なサプライチェーン(供給網)構築に注力するとも語った。



インドが関税引き下げや米国産石油・ガスおよび戦闘機の購入拡大など、貿易戦争回避につながる可能性のある譲歩について協議することを申し出たと明らかにした。ホワイトハウスで撮影(ロイター/Kevin Lamarque)

2025年米印関係変動の焦点

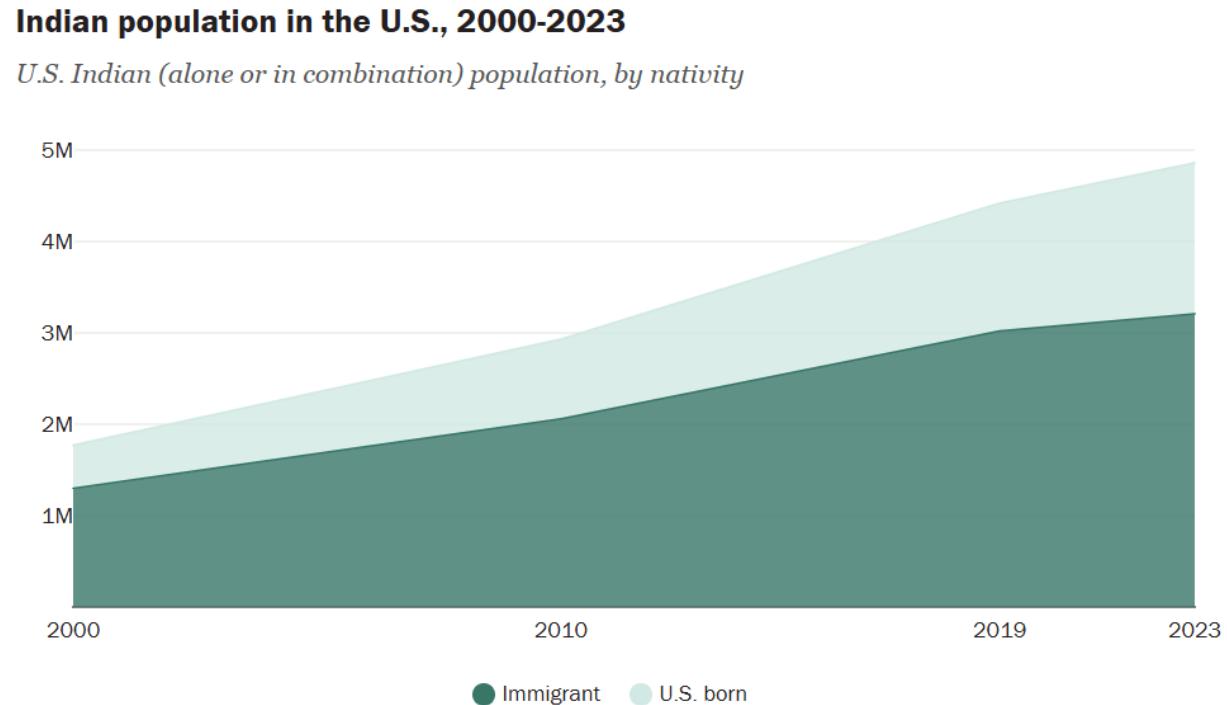


3. インド人移民問題

在米インド人移民は500万人弱(2023)

<https://www.newsindiatimes.com/facts-about-indians-in-the-u-s-pew-research-center/>

- About 4.9 million people in the U.S. identify as Indian alone or in combination with other races, ethnicities or Asian origins, according to Center analysis of the 2021-23 ACS.3 The Indian population has grown by roughly 3.1 million since 2000, up from 1.8 million – a 174% increase over roughly two decades.
- Immigrants made up 66% of the Indian population in the U.S. in 2023, a decrease from 73% in 2000. However, the number of Indian immigrants in the country increased from 1.3 million to 3.2 million people over the same period.



Note: The population shown includes those who identify as Indian alone or in combination with other races, ethnicities or Asian origins. For a list of Indian in combination groups available in the data, refer to the methodology. All figures are rounded according to rules shown in the methodology.

Source: Pew Research Center analysis of the 2000 decennial census (5%) and the 2008-10, 2017-19 and 2021-23 American Community Surveys (IPUMS).

PEW RESEARCH CENTER

「不法移民」のインドへの強制送還

2025/2/6

- A United States military C-17 aircraft carrying 104 deported Indian nationals from Haryana, Gujarat, Punjab, Uttar Pradesh, Maharashtra, and Chandigarh is set to land at Amritsar airport around 1 pm today. The flight, which departed from San Antonio, Texas, on Tuesday afternoon, has 11 crew members and 45 US officials on board.



Indian nationals, including 25 women and 12 minors, are being deported from the US to Amritsar today. (Photo: X/@PressSec)

<https://indianexpress.com/article/cities/chandigarh/us-flight-illegal-immigrants-amritsar-9818590/>

4. カシミール危機

国境紛争、対テロ戦争、水資源戦争、成長大国の軍拡と霸権競争



もう一つの議題：テロとカシミール

2025/2/13@DC

- Increase trade between their countries, including through partnerships on space travel, artificial intelligence and energy production.
- Trump likely referred to the India-Middle East-Europe Economic Corridor to compete with China.
- “India and US will stand strongly together in the fight against terrorism,” Modi said. Trump, for his part, said the US would increase military sales to India “by many billions of dollars”. “In addition, the United States and India will be working together like never before to confront the threat of radical Islamic terrorism – a threat all over the world, actually.”
(Decision of extradition proceedings of Chicago businessman, Tahawwur Rana, to India)

<https://www.aljazeera.com/news/2025/2/14/key-takeaways-from-donald-trumps-meeting-with-indias-narendra-modi>



President Donald Trump and India's Prime Minister Narendra Modi shake hands during a news conference on February 13 [Alex Brandon/AP Photo]

2025年カシミール危機

4/11	2008年ムンバイテロの首謀者(T. H. Rana) 米から印に送還
4/21	米ヴァンス副大統領のND訪問
4/22	インドJ=K州でテロ、観光客等26名襲撃され死亡
5/5	日印防衛大臣会会合(ND)
5/6-7	インドがパキスタンとAK州の11以上の拠点を攻撃、死者31名 パキスタンは直ちに応戦、ラファールを含むインド5機撃墜と発表
5/10-11	米中関税会談(ジュネーブ)
5/10	米大統領がSNSで両国停戦合意と発信、パキスタン歓迎、印は躊躇

Russia@SCO May 4, 2025



FM Subrahmanyam Jaishankar said he had a 'comprehensive review of bilateral, global and multilateral cooperation' with Russian Foreign Minister Sergey Lavrov [Russian Foreign Ministry/Handout via Reuters]
May 4, 2025, <https://www.aljazeera.com>

Russia-India-China-Pakistan

- May 4 (Reuters) - Russian Foreign Minister Sergei Lavrov spoke to his Pakistani counterpart on Sunday and offered Russia's help in resolving tensions between Pakistan and India over Kashmir, the Foreign Ministry said.
- "Particular attention was paid to the significant rise in tension between New Delhi and Islamabad," the ministry said in a statement, referring to Lavrov's conversation with Ishaq Dar, who is also Pakistan's deputy prime minister.

日印、共同訓練拡大で一致 中国念頭、防衛相が会談

2025/5/5

- インドを訪問中の中谷元防衛相は5日、首都ニューデリーでシン国防相と会談し、日印間で実施する共同訓練の拡大や深化で合意した。
- 両氏は、力や威圧による現状変更の動きを見せる中国を念頭に、日印がインド太平洋地域で防衛面の連携を強める重要性を強調した。その上で、連携強化に向け両国の担当者による協議体を新設することで大筋で一致した。シーレーン(海上交通路)の安全確保に向け、海賊対策で引き続き協力することも確認した。



インド空軍 パキスタンの都市爆撃

2025/5/6-7

Indian military strikes

India said it struck nine "terror infrastructure" sites in Pakistan and Pakistan-administered Kashmir on May 7.



Source: India's Ministry of Defence

パキスタン空軍 仏製最新鋭機擊墜

2025/5/7



<https://scroll.in/article/914793/fact-check-pakistani-media-uses-2016-image-from-jodhpur-to-show-indian-air-force-jet-was-shot-down>

カシミールの情勢について（外務大臣談話）

2025/5/7 https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/danwa/pageit_000001_01912.html

- ・ 5月7日、インド政府は、4月22日にカシミールで発生したテロを受けて、テロリストの施設を攻撃した旨発表しました。
- ・ 4月22日にカシミールで発生したテロ行為については、我が国として、こうしたテロ行為を改めて断固として非難します。
- ・ その上で、我が国としては、今回の一連の事態が更なる報復の応酬を招き、本格的な軍事紛争にエスカレートすることを強く懸念しており、南アジアの平和と安定のため、インド・パキスタン双方が自制し、対話を通じて事態を安定化させることを強く求めます。
- ・ 我が国として、邦人保護に万全を期すとともに、引き続き状況を注視していきます。

Pakistan + US Intervention



Combination image of Pakistan leaders Shehbaz Sharif and Bilawal Bhutto-Zardari, and U.S. President Donald Trump
Photo Credit: Reuters

- Prime Minister Shehbaz Sharif and Pakistan Peoples Party chief Bilawal Bhutto-Zardari both praised U.S. President Donald Trump at separate events on Wednesday (June 4, 2025) for his role in what they described as “de-escalating the tension” during the recent military confrontation with India.
- June 5, 2025
<https://www.thehindu.com>

インド・パキスタン停戦合意、瀬戸際から引き返し 米の仲介など外交ルートの役割は

BBC 解説記事 2025/5/12

<https://www.bbc.com/japanese/articles/ceqgx258p0qo>

- 米首都ワシントンにある公共政策シンクタンク、ブルッキングス研究所のタンヴィ・マダン上級研究員は、5月9日にマルコ・ルビオ米国務長官がパキスタン陸軍参謀長のアシム・ムニール司令官で電話会談したことが「決定的な転機だった可能性がある」と述べた。
- カーネギー国際平和基金のアシュリー・J・テリス上級研究員はBBCに、「アメリカは不可欠だった。この結果は、ルビオ長官の尽力なしには実現しなかった」と語った。
- トランプ大統領は先週初め、「私はインドとパキスタンの両首脳をよく知っている。お互いで何とかしてもらいたい（中略）二人には立ち止まってほしいし、できれば今すぐにでも止まってほしい」と述べていた。

(続き)

- ・ パキスタンの専門家らによると、緊張関係が激化する中、パキスタンは「二重のシグナル」を発していたという。軍事的に報復する一方で、国家指揮権限会議(NCA)の開催を発表し、核兵器の存在を暗に示した。NCAは、パキスタンの核兵器に関する運用上の意思決定を担う機関だ。
- ・ パキスタンのイーシャク・ダール外相は同国メディアに対し、トルコ、サウジアラビア、アメリカを含め「3ダースの国」が外交に関与していたと述べた。
- ・ インドの外交関係者は、今回の危機について、(1) 米英による圧力、(2) サウジアラビアの仲介、(3) インドとパキスタンの国家安全保障担当補佐官の直接対話という、三つの主要な和平ルートが機能したと見ている。これは、2019年の危機後とも類似しているという。

中印対立の代理戦争？

- "A test for China-India ties after Pakistan credits J-10C in Kashmir fight", Laura Zhou, South China Morning Post, 12 May 2025 <https://www.scmp.com>
- “India-Pakistan Military Crisis: A Testing Ground for Chinese Military Hardware”, Shaheer Ahmad, May 13, 2025, <https://thediplomat.com/2025/05/india-pakistan-military-crisis-a-testing-ground-for-chinese-military-hardware/>



パキスタンの中国製最新戦闘機J-10C

中国とインドの国境紛争の歴史

ヒマラヤ・カラコルム山脈で中印を隔てる、約3千キロの国境、とくに東部アッサム地区と西部ラダック地区



- 1954 平和五原則(ネルー・周恩来)
- 1962 中印国境紛争(東部アッサム地区と西部ラダック地区で衝突。インドの敗北。)
- 2003 インド側がチベット自治区を中国領と承認し、シッキム州経由の貿易再開に合意
- 2005 中国側が「国境問題解決の政治枠組と指針」に調印、「シッキム州はインドの州」と承認。
- 2006 シッキム州・チベット自治区間で44年ぶりに国境が開放される。
- 2017年ブータン・ドクラム高原に中国企業と軍が国境を越えて侵入、インド軍との緊張激化。

2017年6-8月ドクラム高原の軍事緊張



The Wire, 15/8/2018, <https://thewire.in>

- 6月16日に中国とブータンの係争地ドクラム地域で、中国軍が道路建設を開始。インド軍の駐留するブータン政府が非難し、中印両軍の対峙。
- 中国外務省は「インドの部隊が不法に中国領土に侵入した」と逆に反発。道路建設も、「自らの領土での主権行為で完全に合法だ」と反論。
- 中国軍は7月上旬、インド国境で実弾訓練。新華社通信はチベットでの訓練を、「高地の実戦化の参考にする」と報道。

2019年総選挙

インド人民党は治安と安全保障を強調 (10%成長には触れず)

- 2月25日パキスタン管轄のカシミールに、武装勢力の拠点をインド空軍が爆撃。
- 選挙戦中盤(4月下旬～5月初旬)スリランカの爆破テロ事件を取り上げて対テロ作戦と治安確保を宣伝。
- 選挙戦中盤(4月下旬～5月初旬)西ベンガル州でTMC陣営の暴力を批判、選挙運動を規制。



<https://www.theguardian.com>

2020年中印国境紛争の緊張再来



- ラダック係争地で中印軍の衝突。インド側の将校・兵士20人死亡。
- インド外務省は「中国が一方的現状変更」と非難。45年ぶりの死者。
- 2013年合意で銃不可、中国「釘棍棒」で攻撃。
- 中国外務省は、「インド側が境界線を越え違法な活動」と非難。

Reuters, 2020/6/16, <https://jp.reuters.com>

NHK Web News, 2020/6/17, <https://www3.nhk.or.jp>

「中印外相がモスクワで会談、係争地巡り協議」

日本経済新聞、2020/9/11、<https://www.nikkei.com>



- ・中印両外相はモスクワ開催の上海協力機構(SCO)外相会議を機に、約2時間もの会談。6月下旬以降の中印外相協議は3回目。
- ・中印外相は10日にロシアのラブロフ外相とも3カ国協議を開き、連携の強化や国際的、地域的な問題を協議。ロシア外務省は、中印ロの「共通の発展と相互協力が世界の経済成長や安定に重要な役割を果たす」との考えを確認。

中印国境の緊張持続

Chinese troops entered Indian territory, drove away herders: local official

February 12, 2022, <https://indianexpress.com/>

- The Block Development Chairperson of Nyoma, Urgain Chodon, told The Indian Express: “There was an incident on January 28, when PLA troops came into our territory, they drove away the grazing herds from our own territory. They did not take anyone, but shooed the nomads and herds away.”

Jaishankar underlines: China ignored LAC pacts, an issue of global concern

February 13, 2022 <https://indianexpress.com/>



Australian Foreign Minister Marise Payne by his side, External Affairs Minister S Jaishankar slammed China Saturday for “disregarding” the “written agreements” with India on not massing troops at the border and said it is “an issue of legitimate concern for the entire international community”.

2024年10月以降の中印接近

カシミール地方の中印対峙問題解決へ にらみ合いの軍部隊が撤収、印外務次官が発表

2024/10/21 <https://www.sankei.com/article/20241021-LAXYN37BGFJ4BJK2J50VGURNUQ/>

- インド軍と中国軍が印北部カシミール地方の係争地で2020年に衝突し、多数の死傷者を出して両国軍が対峙している問題で、ミスリ印外務次官は21日、ニューデリーで記者団に対し、中国側との数週間に渡る話し合いの結果、「実効支配線(LAC)のパトロールの取り決めについて合意に達した。部隊の撤収、最終的には2020年に生じていた問題の解決につながるだろう」と明らかにした。
- インドのモディ首相はロシア中部カザンで開かれる主要新興国による「BRICS」首脳会議に出席し、22~23日に訪露する予定。

中国によるパキスタンの抑制

AFPBB 2025/4/24 <https://www.afpbb.com/articles/-/3574747>

- ・ 中国外交部の郭嘉昆(かく・かこん)報道官は23日の記者会見で、インドが実効支配するカシミール地方で22日、観光客らが銃撃され、少なくとも26人が死亡した事件について、中国は今回の事件を強く非難すると表明した。
- ・ 郭氏は次のように述べた。関連の報道に留意している。中国はあらゆる形のテロリズムに断固反対する。われわれは犠牲者に哀悼の意を表し、犠牲者の家族と負傷者にお見舞いを申し上げる。

トルコ

パキスタンがトルコ製ドローン使用
400機以上を飛ばしインドを攻撃

<https://www.bbc.com> May 9, 2025



NurPhoto via Getty Images

インドでトルコ製品ボイコット広がる、
パキスタン支持に反発

2025/5/20 <https://jp.reuters.com>



330,000 Indians visited Turkey in 2024
May 16, 2025 <https://www.bbc.com>

イスラエル

インド イスラエル製ドローン使用



PM Netanyahu welcomed by MP Modi in New Delhi, Jan.15, 2018. (AP Photo, File)

<https://www.timesofisrael.com>

May 9, 2025

パキスタン政府は5月8日撃墜したイン
ド使用ドローンの24機がイスラエル・エ
アロスペース・インダストリーズ(IAI)製
造「ハロップ(Harop)」だと公表。別名
「ハーピー2(Harpy 2)」の徘徊型兵器
(loitering munition)。現在、インドはイ
スラエル製武器の最大の輸入国となり、
Harop and Heron Mark-2 dronesを導入
している。両国は、対テロ戦略
(Counter-terrorism)作戦における緊密
な協力関係を構築している。

産油国・成長大国・G20参加国

サウジアラビア

- Modi's 2025 visit to Saudi Arabia
- It embodies a recalibration of India's strategic priorities and a deepening of ties with one of its most critical partners in the region.



Prime Minister
Narendra
Modi and Saudi Crown
Prince Mohammed bin
Salman(File Photo)

April 22, 2025 <https://www.indiatoday.in/>

インドネシア

India seeks Indonesian support amid
Kashmir ceasefire, downplays nuclear
threat, June 8, 2025

<https://www.thejakartapost.com>



Salman Khurshid, an Indian congressman, in Jakarta,
May 31, 2025. (JP/Nur Janti)

India's global outreach on Operation Sindoor

2025/5/22

<https://www.thehindu.com>



Seven all-party delegations on Operation Sindoor, led by Shashi Tharoor, Ravi Shankar Prasad, Shrikant Shinde, Baijayant Jay Panda, Supriya Sule, Kanimozhi Karunanidhi, and Sanjay Jha, will travel to various countries soon.

- The Centre on Saturday (May 17, 2025) released the list of seven all-party delegations that will soon travel to key partner countries, including members of the United Nations Security Council and the European Union, to convey India's message of zero tolerance against terrorism following the Pahalgam terror attack and Operation Sindoor.

5. 関税と石油

トランプ関税の衝撃 (相互関税25%+ロシア石油輸入への制裁関税25%)

対インドの「トランプ関税」50%が発動
モディ首相は国民に自立呼びかけ

2025/8/28 <https://www.bbc.com>



独立記念日の式典で演説するモディ首相
(2025年8月15日) Bloomberg via Getty Images

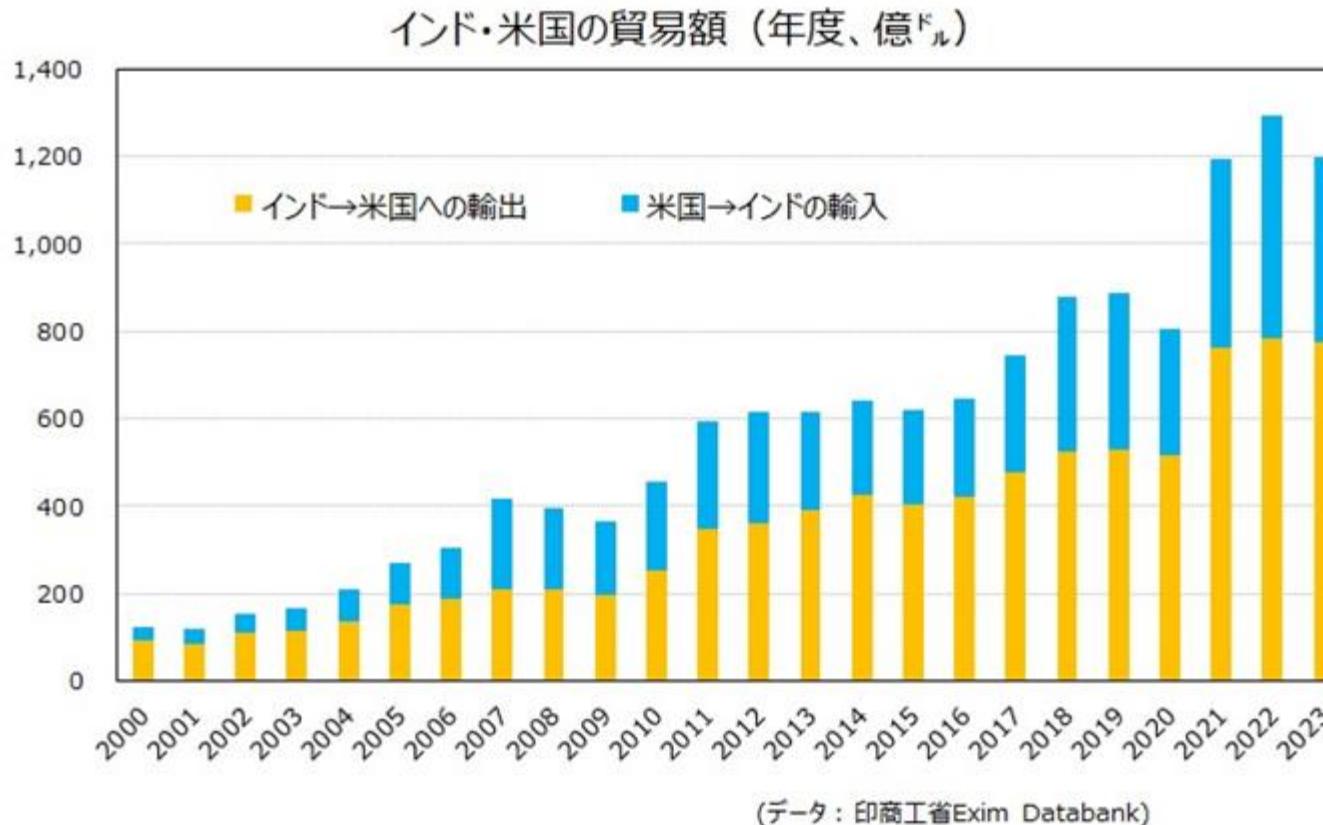
- アメリカは8月27日インド製品への関税を50%に引き上げ。相互関税分の25%と制裁税率分の25%を合わせ、世界最高の税率。インドが、ロシア製の石油・武器を購入し、ウクライナ戦争の資金をロシアに提供しているという。
- インド側は、14億の国民を守るために「最良の取引」を選ぶとし、この関税政策の不当さを指摘し、ロシアからの輸入停止を明言していない。
- インドは世界5位の経済大国となり、インド太平洋におけるアメリカの戦略的パートナーとされる。最近までアメリカがインドの最大の貿易相手国だったが、インド経済の悪化が懸念される。

「トランプ関税戦争、したたかに備えるインド」

日本経済研究センター山田剛主任研究員

2025/4/3

<https://www.jcer.or.jp/j-column/column-yamada/2025043-3.html>

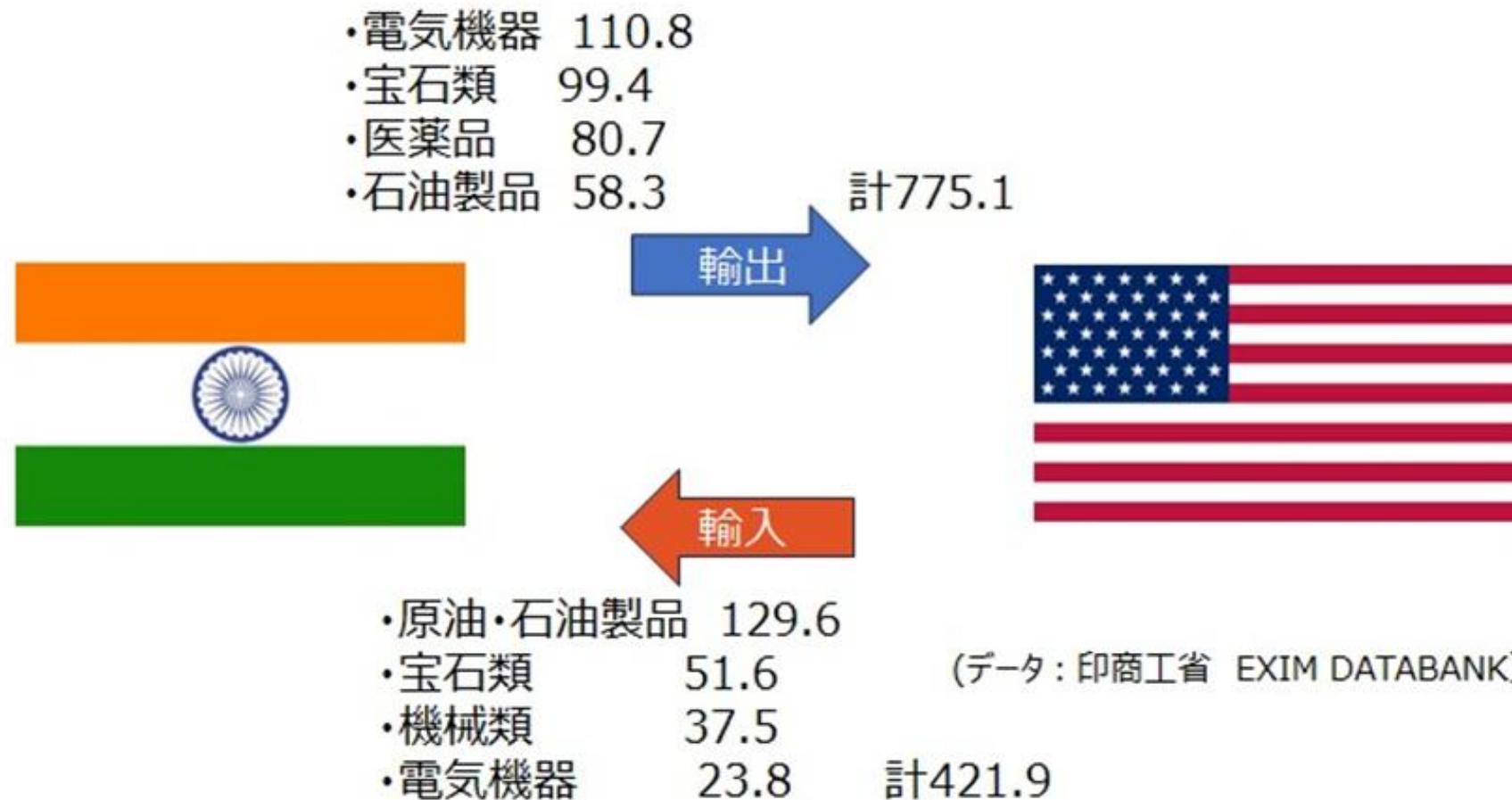


インドが高関税をかけている主な品目
(最惠国待遇=MFN=適用、%)

酒・たばこ	74.5
砂糖・菓子	51.5
コーヒー、茶、スパイスなど	47.6
フルーツ・野菜	34.6
水産物	30.0
輸送用機器	28.2
衣料品	20.7

(データ：WTO World Tariff Profile 2024)

インドとアメリカの貿易構造 (2023年度、億ドル)



<https://www.jcer.or.jp/j-column/column-yamada/2025043-3.html>

Air India 171便墜落事故



エア・インディア機墜落、インド当局がボーイント機の燃料スイッチの点検を指示 米当局は「安全」と通知

BBC 2025年7月15日記事

<https://www.bbc.com>

- インド西部アーメダバード発ロンドン行きのエア・インディア機(ボーイング787-8型ドリームライナー)が6月12日に墜落した事故。インド航空規制当局の民間航空総局(DGCA)は7月14日、国内で運航されているボーイング機の燃料制御スイッチを点検するよう航空各社に指示。
- 7月12日、インド航空事故調査局(AAIB)が主導する事故調査の予備報告書が公表され、燃料供給を制御するスイッチが離陸直後に「オフ」にされたと指摘。
- アメリカ連邦航空局(FAA)は14日、DGCAの指示に先立ち、ボーイング機の燃料制御スイッチは「安全」とする通知を出していった。事故で260人死亡、イギリスの男性1人が生き延びた。

反米・反トランプの抗議運動

Trade unions, farmers to protest against Trump tariffs on August 13

2025/8/4 <https://www.hindustantimes.com>



CTUs-SKM protest will include various mass actions like tractor and motorcycle rallies, protest demonstrations, public gatherings, and other forms of protest.(PTI/Representative Image)



Prolonged 50% tariffs could shave off as much as 0.8% of India's GDP

2025/9/4

Hindustan Times via Getty Images
<https://www.bbc.com/news/articles/cn76llny57zo>

ロシアとインド、過去最大の原油供給契約 年130億ドル規模

2024年12月12日 <https://jp.reuters.com>



ロシア・ネフトゴルスクのロスネフチ施設で2023年9月撮影(2024年 ロイター/Alexander Manzyuk)

- ロシアの国営石油会社ロスネフチ(ROSN.MM)はインドの民間製油会社リライアンス(RELI.NS)に日量約50万バレルの原油供給を合意し、両国間で過去最大のエネルギー契約を締結する。
- 契約期間10年、世界供給0.5%。契約額は年間約130億ドル規模で、価格と供給量は毎年見直し、1月から供給開始予定。
- インドが、ウクライナ侵攻で欧米の制裁を受けるロシアと関係強化をはかることになる。プーチン大統領もインド訪問の予定。
- 成長するインド市場の獲得に産油諸国の競争が激化するが、ロシア産原油に制裁を科していないインドが、安価なロシア産原油の利用を拡大する方針。

モディ政権を支える石油輸入企業

リライアンス: Reliance Industries (RIL)

led by Asia's richest person, Mukesh Ambani



Reliance Industries, led by Chairman Mukesh Ambani, has exported products made from Russian crude oil to countries that have sanctioned Russia, including the US
[File: Ajit Solanki/AP Photo]

Russian crude comprised a mere 3 percent of RIL's Jamnagar refinery's total crude imports in 2021. Since the war in Ukraine, it has shot up to an average of 50 percent in 2025, according to data from the Finland-headquartered Centre for Research on Energy and Clean Air (CREA).

In the first seven months of 2025, the Jamnagar refinery has imported 18.3 million tonnes of crude oil from Russia, a 64 percent year-on-year increase, and worth \$8.7bn.

アダニ・グループ

中国の一帯一路に切り込むハイファ港経営



ETMarkets.com

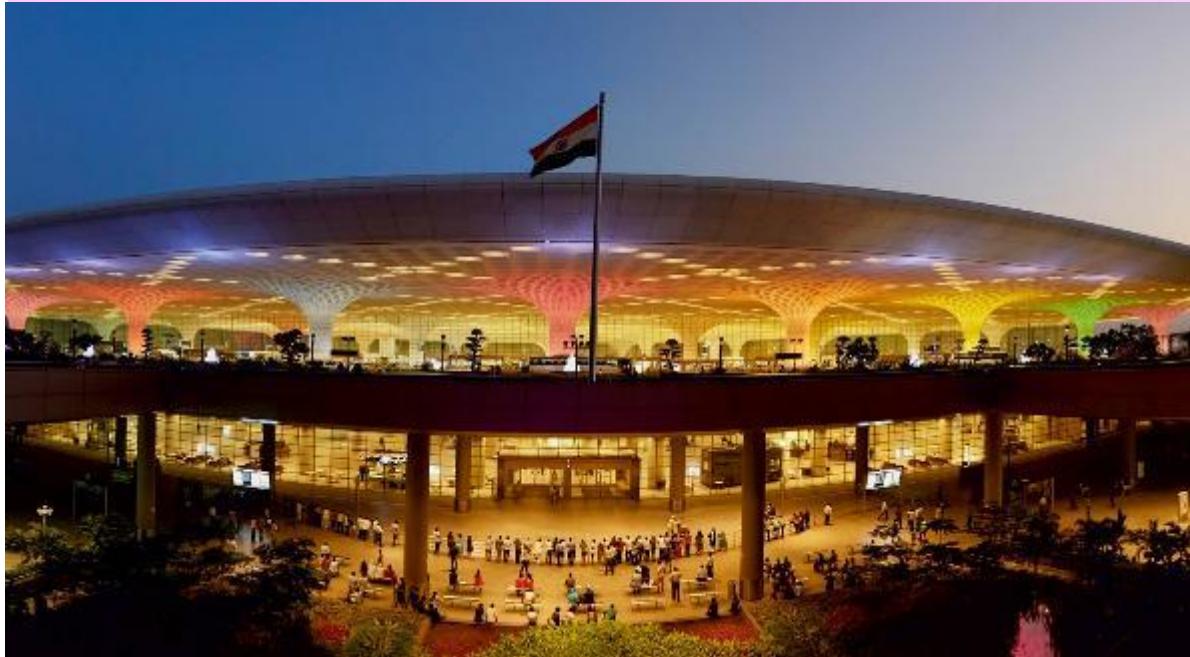
Why Adani's \$1.2 billion stake in Haifa Port is more than just business

Jun 17, 2025

<https://economictimes.indiatimes.com>

Following an Iranian missile strike that damaged the Bazan oil refinery and heightened regional tensions, Adani Group's Haifa Port investment faces increased scrutiny. Despite denials of damage, the port's strategic importance to Israel and India's IMEC corridor plans underscores the risks of operating in a conflict zone.

人民党のクローニー企業 不法行為で米検察の追及



アダニ・グループの運営するムンバイ国際空港
不正疑惑再浮上のアダニ・グループは逃げ切れるか

- 「アダニ会長が一時、米フォーブス誌でテスラのイーロン・マスク氏やアマゾンのジェフ・ベゾス氏に次ぐ「世界第3位の大富豪」にランクされたことは記憶に新しい。アダニ・ファミリーはモディ首相と同じ西部グジャラート州出身で、**インフラや再生可能エネルギー**を中心に展開するそのビジネスは、モディ政権が推し進める政策と見事に一致する。しかもアダニは、**スリランカやバングラデシュ、イスラエル、ケニアなど**世界各地で港湾開発やエネルギー関連ビジネスを展開中。米検察当局の出方次第では、**インドの経済政策や外交にも影響が出かねない。**」

6. アメリカ抜きのQUADか

米印緊張から米中接近と中印接近、対中警戒網の分裂、日豪印連携の維持？

インド太平洋戦略と「海の国際政治」

インド：インド洋が焦点



<https://www.spmrf.org/emerging-perspectives-of-the-indo-pacific>

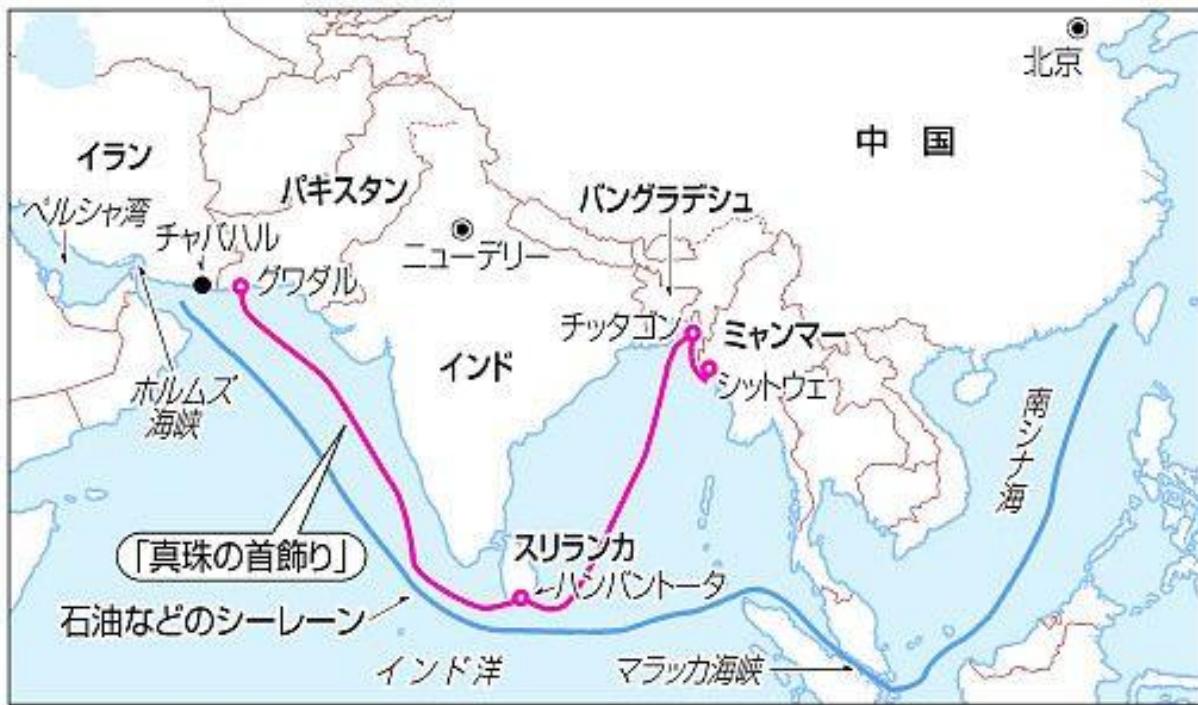
<https://www.pacom.mil/About-USINDOPACOM/USPACOM-Area-of-Responsibility>



アメリカ：太平洋が焦点

インド洋における中国の「真珠の首飾り」戦略

<http://www.47news.jp/47topics/e/245847.php>



インドは、中国の資本と労働者が自国に入らないよう規制を続けてきた。貿易相手国としての対中依存も減らしつつ、自國周辺で展開する中国の「一带一路」政策を「真珠の首飾り戦略」と呼び、警戒を強めてきた。ロシアからの空母購入など海軍力の増強をはかり、日本からの救難飛行艇「US-2」の購入、自衛隊も招く米印のマラバール海での海軍合同演習などを行い、Quad・英仏・ASEANなどとの安全保障協力を進める。

海の一帯一路、債務の罠、政治の混乱



中国管理下のスリランカ・ハンバントタ港
July 1, 2020, <https://economynext.com/>

中国・モルディブ友好橋
<https://www.dhakatribune.com/>



竹中千春「中国大国化とインド」『アジア研究』69巻1号, pp. 54-59, 2023年、
https://www.jstage.jst.go.jp/article/asianstudies/69/1/69_as23.si05/_article/-char/ja

インドの安全保障パートナー：米日豪

緊張下でインド洋の日印演習

インド海軍と海上自衛隊のマラッカ海峡周辺での共同訓練実施。

29/6/2020, <https://timesofindia.indiatimes.com/>



Representative Image, <https://www.deccanchronicle.com/>

豪印、防衛協力で新協定 対中けん制

2020/6/5 <https://www.nikkei.com/>

- 豪印は両国軍の相互運用能力を高める協定に合意。日米主導で中国に対抗する「自由で開かれたインド太平洋」構想に賛同。
- 戦略パートナーシップから包括的戦略パートナーシップに格上げ。相互後方支援協定の締結に合意。相互の艦船や航空機に燃料補給、整備施設利用が可能に(Reuter)

トランسفォーメー ションと均衡

バイデン政権

- *Quad*(米日豪印)連携強化
- 多国間協力体制
- *Quad Plus*



Source: ABC, 12 March 2020
<https://www.bilaterals.org/?us-urges-australia-to-expand&lang=en>

QUADの終幕か

Did Trump Kill the Quad?

October 10, 2025 <https://thediplomat.com>

Trump's moves are casting doubt on the prospect of a Leaders Summit – and the future of the Quad itself.

The Quad Is Dead, Long Live the Quad In an increasingly dangerous era, the group's old patterns of cooperation will not suffice. (Arzan Tarapore)

<https://foreignpolicy.com/2025/11/03/quad-indo-pacific-trade-deal/>

Hopeful of Quad Summit in India early next year, says Australian PM

2025/11/23 <https://www.tribuneindia.com>

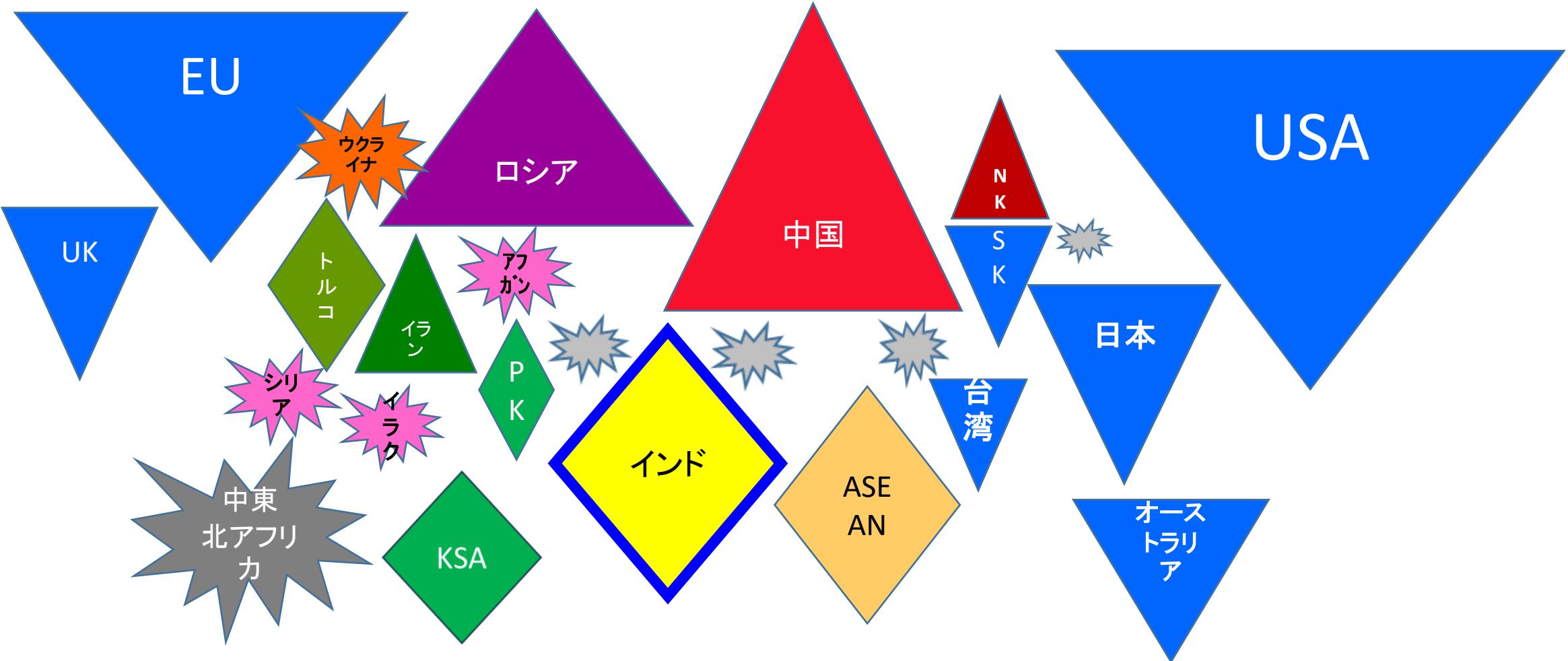
- Australian Prime Minister Anthony Albanese has expressed confidence that the Quad grouping will continue to remain a key strategic forum and said he was “hopeful” India would host the next leaders’ summit in the first quarter of 2026.
- Speaking at a press conference in Johannesburg on the sidelines of the G20 Summit on Friday, Albanese dismissed speculation over the Quad’s future under the Trump administration, stressing that cooperation between Australia, India, Japan and the US remained firmly in place.

7. 新しい権力政治 米印緊張、中印接近、日印協力

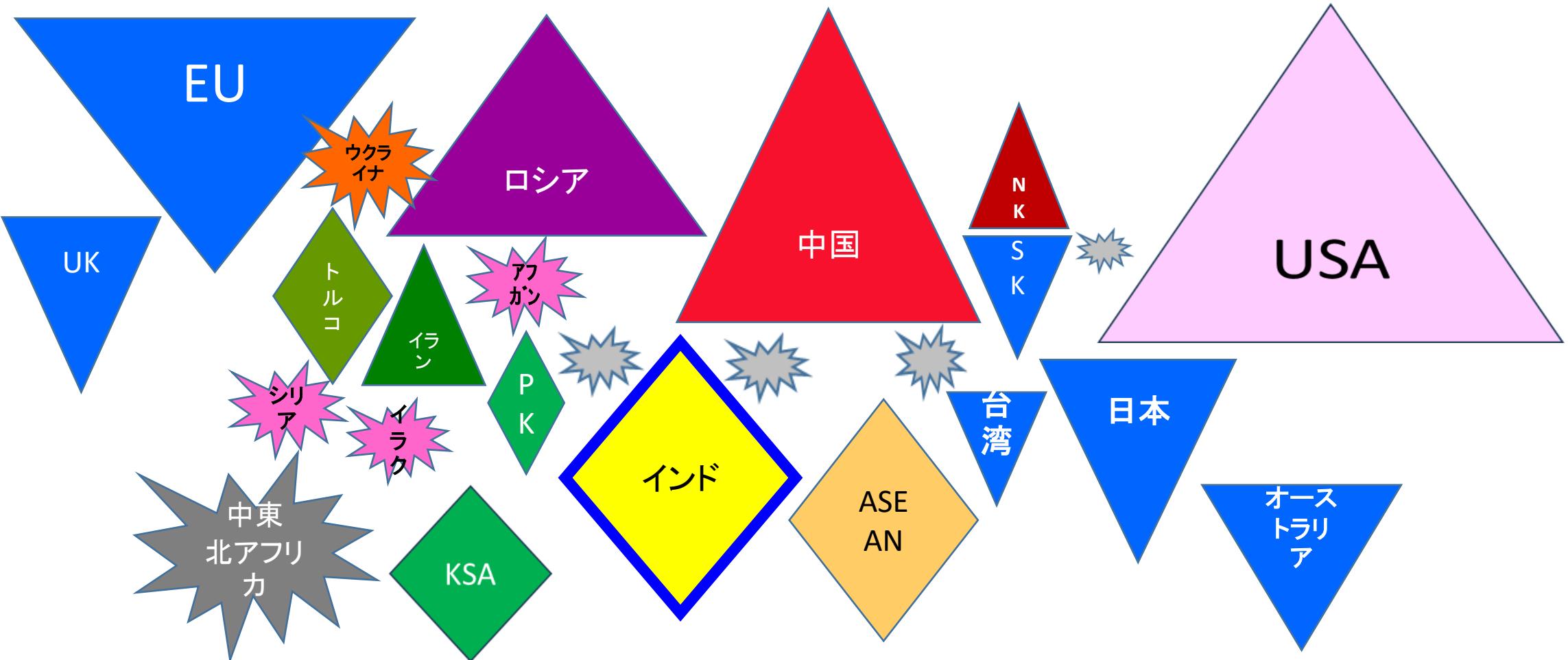
バイデン時代までの国際政治－権力移行と権力競合

米国の後退、中国の台頭、核拡散、中日連携、武装勢力

現状維持勢力(▼) ⇄ 現状変更勢力(▲)



トランプ2.0時代の国際政治－権力競合と新しい連携 米同盟の弱体化、国際秩序の混乱、中日中の拡大 現状維持勢力(▼)↔現状変更勢力(▲)



インドの対中接近



上海協力機構の首脳会議で中国の習近平国家主席右やロシアのプーチン大統領左と話すインドのモディ首相(1日、天津市)=ロイター

- ・中国・天津で上海協力機構(SCO)首脳会議に出席したインド代表団が、3日に北京で行われる中国の「抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利80周年」記念日の軍事パレードに参列しないことが1日分かった。
- ・インド政府関係者は時事通信に、パレードは中国が対日戦勝を祝つ行事」と認識していると指摘。「インドには日本を傷つける意図はない」と説明した。来日を終えた直後に訪中し、SCO首脳会議に出席したモディ首相も参列しないといつ。
- ・インドは、ウクライナ侵略を続けるロシアからの原油購入を巡り、トランプ米政権から高関税を課され、対立を深めている。一方、国境問題を抱える中国とは関係改善の動きも報じられている。

アメリカの対中接近

米中首脳が電話会談、トランプ氏4月の訪中招待受入れ 関係「極めて強固」



トランプ米大統領と中国の習近平国家主席。2025年10月30日、
韓国・釜山で撮影。REUTERS/Evelyn Hockstein

- [ワシントン 24日 ロイター] - トランプ米大統領は24日、中国の習近平国家主席と電話会談を行った。会談後、米中関係は「極めて強固」とし、来年4月に中国を訪問する招待を受け入れたと明らかにした。習主席は会談で台湾の「中国への復帰」が戦後国際秩序の重要な構成部分という中国の立場を明確に表明。

インドの対米宥和

India-US sign 10-year defence pact amid tariff turmoil

- India and the US have signed a framework agreement to expand defence cooperation over the next 10-years.
- The pact was announced after a meeting between US Defence Secretary Pete Hegseth and his Indian counterpart Rajnath Singh in Kuala Lumpur.

Pete Hegseth/Twitter



The countries say the agreement will enhance coordination, information sharing and tech cooperation

<https://www.bbc.com/news/articles/c5y0qz701xe0>

トランプ派インド大使の歓迎



Vice President JD Vance (L) and Secretary of State Marco Rubio participate in a swearing-in ceremony for U.S. Ambassador to India Sergio Gor in the Oval Office of the White House on Nov. 10, 2025. BRENDAN SMIALOWSKI/AFP via Getty Images

- Senior Trump officials roast Sergio Gor, the new U.S. ambassador to India
- ”New India-US bridge over troubled water” : With Trump’s aide Sergio Gor taking oath as American ambassador to India, the two sides have an opportunity to clear the air and build economic alignment as a pillar of strategic trust.
- Opinion by Shashi Tharoor, The New Indian Express, 8 Nov 2025, <https://www.newindianexpress.com>

プーチン大統領の訪印

2025/12/6 <https://jp.reuters.com>



- [ニューデリー 5日 ロイター]ロシアのプーチン大統領とインドのモディ首相は5日、ニューデリーで会談し、原油や防衛などの分野を超えて貿易を拡大、多様化することで合意した。欧米がウクライナ侵攻を巡り対ロシア制裁を強化する中、プーチン氏はインドへの燃料供給が途切れないようになると確約。両国は首脳会談を受け、防衛関係の再構築などを盛り込んだ共同声明を発表した。

(続き) プーチン氏、インドに燃料安定供給を確約 モディ首相と貿易・防衛協力拡大で合意

- モディ首相はこの日の会談の冒頭、プーチン氏に「インドは中立ではなく、平和の立場を取っている。平和のためのあらゆる取り組みを支持し、平和のために行われるすべてのイニシアチブに肩を並べて協力する」と述べた。
- プーチン氏は、紛争解決に向けた取り組みに謝意を表明。「私たちは、ウクライナ情勢で何が起きているかについて詳しく説明する機会を得た——そして、その機会を与えてくれたのはあなただ。また、米国を含む他のパートナーと共に、この危機を平和的解決に向けて講じている措置についても話した」と述べた。

米口がウクライナの和平案を協議、進展みられず



プーチン大統領とウシャコフ大統領補佐官
ウクライナ和平をめぐる米口交渉
2025/12/2@モスクワ

<https://www.bbc.com>

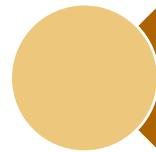
ユーラシア大陸の「陸の国際政治」 アメリカの不在



BRICSの3力国



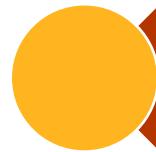
エネルギー資源+パイプライン



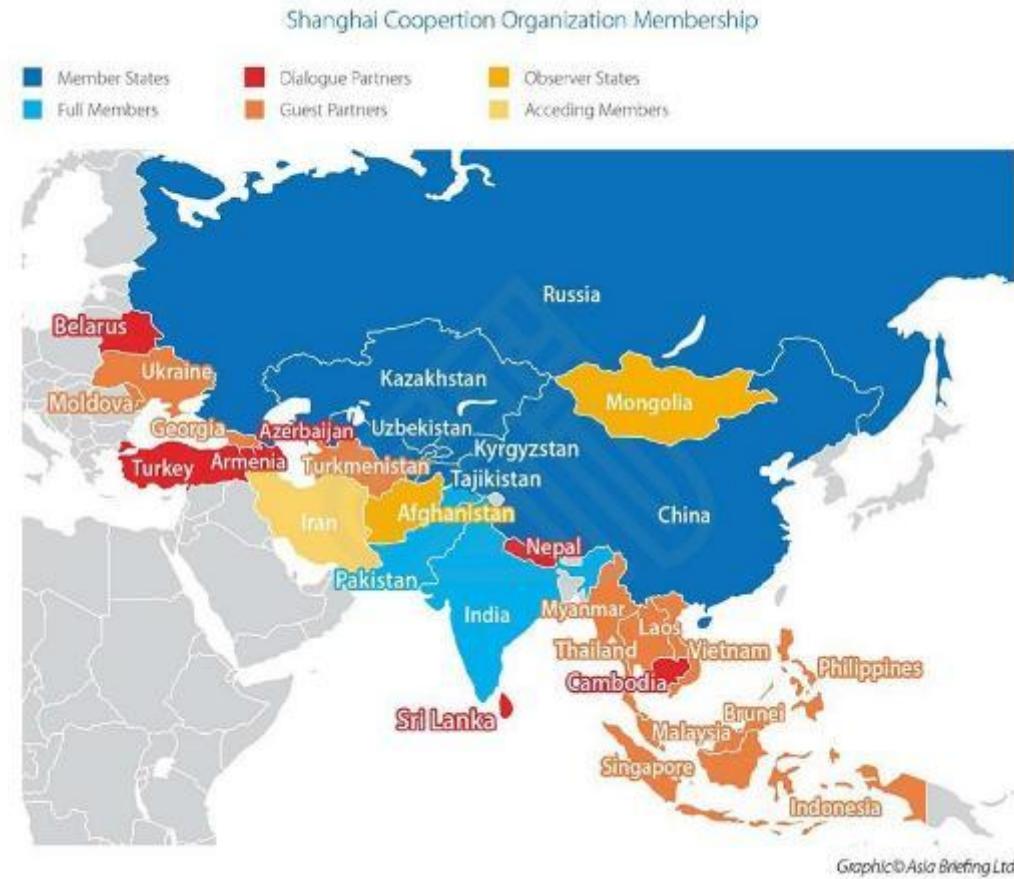
経済開発+一帯一路



核保有国家と核拡散



戦争とテロリズム



米軍のアフガニスタン撤退

2021/8/31

米駐留部隊がアフガニスタンから撤収、アメリカ史上最長の戦争終わる

2021/8/31 <https://www.bbc.com/japanese/58390323>



GETTY IMAGES 米軍撤退後、すぐにカブール空港に入り、残された設備を活用するタリバン戦闘員



自衛隊機のアフガニスタン派遣へ調整 日本人職員など退避へ

2021/8/22

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210822/k10013217751000.html>

アフガニスタンとパキスタンの交戦

- ・パキスタン南西部バルチスタン州とアフガニスタン南部カンダハル州の国境地帯で5日夜、両国の軍が砲撃などで交戦し、アフガンのイスラム主義組織タリバン暫定政権は6日、民間人ら5人が死亡、5人が負傷したと明らかにした。パキスタン英字紙ドーンは、同国側で3人負傷と報道。
- ・タリバン暫定政権はパキスタン側が攻撃してきたと主張。パキスタンはアフガン側の砲撃に反撃したとする。両国は10月、国境地帯で衝突が続き、カタールとトルコの仲介で停戦に合意したが、11月に停戦維持に向けた協議が決裂。緊張が続く。(共同)



Pakistan, Afghanistan agree to 48-hour Ceasefire after dozens of soldiers, civilians killed in fresh border clashes
Oct.15, 2025 <https://www.livemint.com>

インドとパキスタン：首都での爆破テロ

インド 首都 世界遺産近くで車爆発 8人死亡
2025/11/11 <https://news.web.nhk.jp>



写真AP／アフロ

パキスタン首都で自爆テロ、12人死亡 武装組織が犯行声明 2025/11/12
<https://www.cnn.co.jp/>



反政府武装組織「パキスタン・タリバン運動(TTP)」系武装組織「ジャマートゥル・アハラール(JuA)」が犯行声明を出した。

ユーラシア国際政治—G7不在の権力政治 ロシア・中国との連携

